

札労研だより

平成29年 1月号

No. 223

発行
(-社)札幌建設業協会
労務研究会



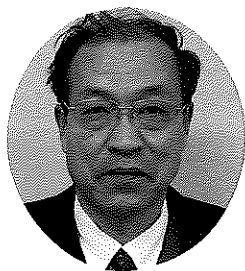
五輪橋クリニック新築工事

住 所：札幌市中央区南39条西11丁目377-3
工 期：平成27年11月17日～平成28年8月20日(278日)
発注者：社会医療法人 孝仁会 理事長 齋藤 孝次
施工者：株式会社 田中組

工事概要：RC造3階建て
建築面積 993.22㎡
延べ床面積 2462.05㎡
電気、機械設備、昇降機設備工事一式

目 次

新年のご挨拶	(-社)札幌建設業協会労務研究会委員長	高橋 雅勝	2
新年のご挨拶	札幌中央労働基準監督署長	後藤 亮	3
新年のご挨拶	札幌東労働基準監督署長	鈴木勘次郎	3
札労研に入会して	札建工業(株)	増井 豊樹	4
札労研に入会して	(株)山田組	辻 順一	4
第59回全国建設労働問題連絡協議会参加報告			5～6
平成28年度「けんろく会」活動報告			7
札幌建設業協会労務委員会活動報告			8～9
我が社の安全衛生管理活動の紹介(札建工業(株))			10～11
札労研メモ			12～13
札労研委員名簿			14
札幌労務研究会の沿革(抜粋)			15
カメラが見た安全の工夫あらかると			16



新年のご挨拶

(一社)札幌建設業協会 労務研究会

委員長 高橋 雅勝

新年あけましておめでとうございます。

昨年、5月より大谷前委員長の後任として委員長を拝命した高橋でございます。

札幌労務研究会の皆様方には日頃より業務多忙の中、労研活動に積極的にご協力頂き、ありがとうございます。

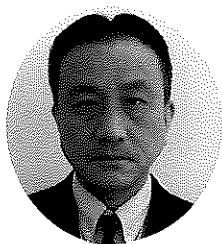
また、労働基準行政、札幌建設業協会の皆様方をはじめ多くの方々のご指導、ご支援を賜り心より感謝申し上げます。本年も変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い致します。

近年、建設業は深刻な労働者不足の問題に端を発し著しい変化を遂げております。そんな中、前委員長の尽力のもと札労研は活動の場を広げ、有意義な課題に取り組むことが出来ました。私はその活動方針を継承すると共に更なる発展を目指し札労研の活動が道内企業の労務、安全水準の向上に少しでも寄与できるよう邁進していく所存です。

さて昨年、道内は8月から9月にかけて4つの台風が連続して接近・上陸し、道東を中心に大洪水や土砂崩れ、更には橋桁が落下するといった経験したことのない、甚大な被害にみまわれました。そして未だに多くの幹線道路、鉄路などの復旧工事が続いており、早期復旧に向け多くの工事関係者が尽力されています。この厳しい気象状況の中、大きな事故、災害が起きないように心より願っております。また、世界的にはTPP問題やアメリカ大統領の交代など大きな出来事もあり、アメリカのかじ取り如何では農業、防衛政策などをはじめ、大幅な政策転換も予想され、今後は建設投資への影響も不透明感を拭えない状況です。

そんな中、北海道日本ハムファイターズの優勝や北海道コンサドーレ札幌のJ1復帰などスポーツ界では久々に歓喜に沸いた一年でした。建設業界においてもTPPに伴う農業関連や北海道整備新幹線による工事量の増加、更には大型公共施設等の建築ラッシュで非常に忙しい年でもありました。その反面、やはり労働者不足による工事の遅延や安全面の不安、労働環境の悪化という懸念材料も露呈しており、今後も若年者の入職促進、女性の活躍できる職場環境の整備等は喫緊の課題であることを再認識させられました。行政、建設業協会等の取り組みに対し、札労研としても積極的に協力をしていきたいと考えております。そして労研活動は各企業の労務、安全担当者が自社業の傍ら貴重な時間を割いて行っており、その事も十分配慮したうえで、より有意義な活動にしていくことが私たちの役割と認識しております。現在、札労研では労務、安全部会ともに労災保険給付や安全管理における様々な疑問等に対しQ&A方式で取りまとめる作業を計画しており、業界関係者の皆さんの業務に少しでも役立つ内容になるよう部会委員が活動をしています。(詳細につきましては後述の各部会紹介を参照願います。)

最後になりますが平成29年は建設業にとりまして更なる発展の年であり、労働災害が大幅に減少し、皆様方にとり幸多い年となりますことをご祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

札幌中央労働基準監督署
署長 後藤 亮

新年あけましておめでとうございます。

札幌建設業協会労務研究会会員の皆様には、平素より労働基準行政の推進に多大なるご理解とご協力をいただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

札幌地域においても経済情勢は穏やかな回復を続け、各種雇用統計も持ち直しの動きを続けておりますが、反面人手不足感に悩む機会も増えているかと存じます。

本年も当署においては労働条件の確保改善、労働者の安全と健康の確保等を最重点として行政を推進してまいりますので、引き続きのご協力の程お願い申し上げます。

昨年を振り返って、労働をめぐる話題で特に強く印象に残ったことを2点挙げさせていただきますと、1つは「働き方改革」が日本全体の重点課題とされてきた中で、大手企業の若手社員が過労などを背景に自殺してしまったという、痛ましい事案です。

当署や総合労働相談コーナーに寄せられる申告・相談の多くも、長時間・過重労働や各種ハラスメント等に関する事案であり、これらの予防対策は平成27年12月から義務化されたストレスチェックの実施も含め、すべての職場において取り組み願いたいと思います。

次に労働災害の防止に関して印象に残ったのは11月の博多駅前前の陥没事故で、その規模の大きさと共に、復旧の速さにも日本中が驚いたと思いますが、より強く印象に残ったのは、事故の際、早朝とはいえ大都市の真中にもかかわらず、大きな人災がほとんどなかったことです。

一部の報道によれば施工業者が早期に周辺を立入禁止にしたことが奏効した、とのことでしたが、だとすればおそらく、瞬時に先を読んで強い決断ができるリーダーの存在と、日頃からの有事に備えた有効な訓練があつてのことではないかと想像します。このことは、様々な労働災害を未然に防止し、被害を最小限にとどめるため、参考となるのではないかと思います。

新年のご挨拶にふさわしい、明るい話題ばかりではなくて申し訳ありませんでしたが、会員の皆様には引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、貴会のますますのご発展と、あわせまして会員の皆様のご健勝を祈念申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

札幌東労働基準監督署
署長 鈴木勘次郎

あけましておめでとうございます。札幌建設業協会労務研究会会員の皆様には輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、皆様には、日頃より労働基準行政の推進に格別のご協力を賜っておりますことに厚くお礼申し上げます。

さて、道内の雇用情勢につきましては改善が進んでいる状況にありますが、一方で当署に寄せられた労働条件に関する相談件数は高止まりの状況になっており、個々の事業場にとってはまだまだ多くの問題を抱えている状況にあるものと推察されます。その中でも長時間労働につきましては、過労自殺の問題が大きく取り上げられるなど高い関心が集まりました。昨年6月2日の閣議で決定されました「ニッポン一億総活躍プラン」の中にも「長時間労働の是正」が掲げられており、長時間労働の抑制と過重労働による健康障害の防止対策が本年も当行政の重要な課題の一つであることには間違いありません。労働者が安心・納得して働けるよう、この過重労働対策を含む労働条件の確保・改善に今後ともご協力をお願いいたします。

皆様の災害防止に対する真摯な取組みにより、10月までは順調に減少しておりましたが、11月に死亡災害が多発したこともあり、死亡災害については、11月末現在で前年同期よりも2件減少の23件となっております。札幌両署管内におきましては、皆様のご尽力により、死亡災害が前年の8件から3件と大幅に減少し、休業4日以上死傷災害も16.5%の減少の227件となっております。この減少傾向を是非とも維持してまいりたいと思います。

本年は第12次労働災害防止計画の仕上げの年に当たります。同計画の目標を達成するため、年の始期である1月から安全管理体制を整え、目標を立てて計画的に災害防止対策を進めていただくようお願いいたします。特に1月から3月にかけては、墜落・転落災害、交通労働災害や転倒災害が多発しておりますので、冬季特有の労働災害の防止に留意するとともに、「北海道冬季災害ゼロてんとう防止運動」にご協力をお願いいたします。

お願いばかりになりましたが、今後とも「誰もが安心して働ける労働環境づくり」のために、当行政に対する一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に本年が皆様にとりまして幸多い年となりますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



札労研に入会して

札建工業 株式会社
増井 豊樹

平成28年5月より前任の池田良利の後任として札労研に入会させていただき、労務管理部会に参加させていただいております。

私が会社で所属している職場はJRの軌道メンテナンスを主工事としおり軌道敷内が主な作業場となるため、一般建設業の労働安全とは重きを置くところが違っておりました。そのような環境で育ってきたため「札労研」へ出席されている労務安全のプロの皆様から見れば全くの初心者でありまして皆様方の温かいご指導に感謝している次第です。

簡単に自己紹介をさせていただきます。

私は昭和54年札建工業(株)に入社いたしました。オイルショック後の不況が長びく中、成績不振の私は就職に際して厳しい現実を直視し、何とか当社に採用していただき、それから線路工事一筋で今日に至っております。入社後の最初の工事が東北新幹線花巻工区の軌道新設でした。この工事のロングレール(200mレール)を運搬する作業で運搬車両の整備不良(トロとトロを連結するピンの割ピンが欠落していた)により工事用車両の走行中にトロとトロの連結が外れ2名の方がレールの下敷きとなって亡くなるという大変いたましい人身事故が発生しました。新米の私は何もわかりませんでしたが単純な事がこんな大きな事故になる怖さを知ったような気がしました。

それから30年後、平成21年より6年間、北海道新幹線の作業所長を命ぜられ北海道新幹線の函館開業に関わることとなりました。新幹線の軌道工事は地域の工事ではなく各JR傘下の軌道工事の請負会社が参加しております。新幹線の最高スピードは盛岡開業当時の210kmから270kmへとアップされ施工に求められる精度は格段と向上していました。残念ながらJR東日本傘下の工事量・工事経験の豊富な企業とJR北海道傘下の当社では「安全・施工管理」にこの30年間で大きな差が付いていることを思い知らされました。

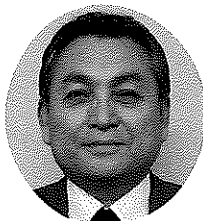
私が入社した頃の保線屋は「マクラギ(60kg)を一人で担げて一人前」、「ケガと弁当は自分持ち」などが通用しているような時代で、まだまだ、事故防止も熟練者の技能に頼っている時代でありました。そのような状況がしばらくの間続いていましたが、平成14年には線路部門としてISOを取得、平成18年には安全衛生協議会の完全実施など少しずつではありますが「労働安全衛生」にも目を向けていくこととしました。

昨年にはJRより致命傷となるような重大事故を防ぐために施工業者自らの「マネジメントシステム」を構築するように指示があり勉強と実施を繰り返しているところです。

営業所での「月間工程調整会議の実施と作業毎のリスクの抽出」、「週間工程会議の実施と細部の周知と確

認」「日々の点呼では注意喚起事項の作業員への周知を教訓カード(写真と一行のコメントに整理したもの)で行う工夫」等を行っています

今まで通りが通用出来ない時代となり、「法令遵守」等、社会全体の建設業に求める厳しい目は軌道工事も例外ではなくなりました。労働安全衛生法などあまり関わらないで仕事をやってこれた私には札労研の諸先輩の話は貴重な情報となりますので今後ともご指導のほどよろしく申し上げます。



札労研に入会して

株式会社 山田組
辻 順一

平成28年2月より前任者、阿曾 清の後任で札労研に入会させていただき常任委員として安全環境部会に所属しています。これまで何回かの会議では、隅の方で静かに席を温め皆様の労務、安全に対する豊富な知識を目の当たりにするばかりでした。そんな不安の中での歓迎会、会議等での温かい声掛けなどありがとうございます。

ここで簡単ながら自己紹介をさせていただきます。昭和52年に株式会社山田組に入社し、土木の技術者として全道各地を回り主に道路、河川、地下鉄、覆土式タンク、橋梁等経験し(一時期同系列会社出向)、平成25年から技術管理部に配属となりISO内部監査員(少しでも現場負担を軽減したつもり?)、社内検査員(現場に対し創意工夫、評価点向上の後方支援したつもり?)となりましたが、平成28年1月に安全管理部への移動を命ぜられました。新しい環境での戸惑いながらの毎日で、現場からの安全関係に対する質問攻めには安衛法、安衛則片手に冷や汗ものでした。

「安全は状態ではなく、行動だ!」、「安全はそもそも現場に存在しない!有るのは危険ばかりだ。それを低減するのが我々の職務だ!」、「(肥大化される安全書類の多さに)その書類の多さが会社を守るんだ!」、「出来形には許容があるが、労働災害は常にゼロを目指し許容がない」などと自分自身に言い聞かせ現場時代を実践してきました。今は多少立場が違いますが、4月の弊社安全大会、そして全国安全週間、全国労働衛生週間、建設工事追い込み期及び年末年始労働災害防止運動等と1年があつという間に過ぎようとしています。しかし無事故無災害を目指すベクトルの方向、熱意は現場担当者と同じ思いで職務に励んでいます。

安全性の向上に向けての設備(足場、監視用カメラ等)、建設機械(クレーン仕様、各種アタッチメント等)には目を見張るものがあり、建設作業の安全に対する取り組みが確実に変わりつつある中、安全環境部会では今、安全等に関する建設業のQ&Aを二か年計画で活動中です。この時期に委員として参加し、皆様のご指導のもと勉強させていただき、どのようなものが完成できるか楽しみです。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

第59回全国建設労働問題連絡協議会参加報告

(一社)札幌建設業協会 労務研究会
委員長 高橋 雅 勝

今年で第59回目となる全国建設労働問題連絡協議会が、11月1日に東京都中央区日本橋の鉄鋼会館にて開催され、札労研を代表して参加させていただきました。全国から各労研関係者の方々140名の参加（内北海道16名）のもと、「長時間労働の是正に向けて」、「建設業における女性の更なる活躍のために」、「けんせつ体操」というプログラムの内容で始まりました。



第1部は、厚生労働省労働基準局労働条件政策課長 藤枝氏から「長時間労働の是正に向けて」と題して配布された資料をもとに日本国内

における長時間労働の諸問題等について傾向や労働時間法制等に関する講話がありました。その中では、長時間労働削減対策の取組状況として、「事業場に対する監督指導の徹底」、「過重労働解消キャンペーンの重点監督」、「監督指導・捜査体制の強化」、「企業名公表制度の創設」などを掲げ、働き方改革の一層の推進を図っていくと述べられました。

第2部は、「建設業における女性の更なる活躍のために」という題材で、建設業においてさらに女性の活躍が進むよう、現在、建設業で活躍されている4名の女性がパネリストとして、パネルディスカッションが行われました。内容としては、建設業に入職したきっかけや、従事して苦労した話、仕事を続ける上で必要な研修・資格、国に対してどのようにしてほしいかなどを約1時間30分ほど話し合いました。

建設業に入ったきっかけは、「学生の頃に橋の現場に興味を持った」、「夫の仕事が建設業だった」、「小さい頃、家の手伝いをしていた」など理由は様々ですが、女性ならではの住民への対応や書類の整理の仕方など、周りから感謝されると仕事が楽しくなり、続けていきたいと思うようになったそうです。逆に辛いと感じたことは、セクハラ発言や女性だからと思われている上司の態度、また出産や育児での休暇を申請するときは辛かったとのこと。その中で女性が出産や育児を抱えて仕事を続けていくには、家族の理解・サポートはもちろんの事、企業においても同様のサポート体制や上司との信頼関係の構築が必要であると感じていました。また、資格の必要性も大変感じており、各資格の取得など長い目で見守っていただきたいということから今後、企業の経営者には意識改革を持ってもらい、建設業の3K（きつい・汚い・危険）を新しい3K（希望が持てる・休暇が多い・給料が高い）になることを願うと言うことと併せて行政側に対しても、保育所の増設や安定した公共事業の仕事量の確保など、ハード面とソフト面に対応していただけたらと長く女性が仕事を続けていけるのではと訴えていました。

私個人の感想として、建設業の作業環境は以前からみると大変良くなり、技術面や安全面でも優れていると思いますが、自然相手に決められた工期まで完成させ、顧客を満足させる品質を確保し、企業として適正な利益を確保するとなれば、行政側と建設業者が、同じ方向を向いていないとまだまだ難しい問題が山積みのような気がしました。

今回の労働問題連絡協議会がもっと活発に開催され、多くの建設業従事者が楽しく希望のある職業になればよいと感じました。

労研創立70周年記念パーティー及び 第35回全国労研交流会議参加報告

(一社)札幌建設業協会 労務研究会
副委員長 伊藤 勝 行
労務管理部会 坂本 昌 幸

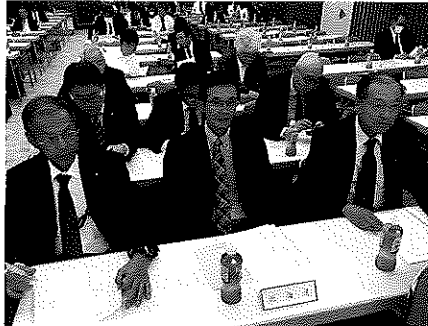
全国建設労働問題連絡協議会に参加した後、労研創立70周年記念パーティーに出席させていただきました。

厚生労働省、国土交通省、関係団体、各地労研、労研OBの方々が出席される中、賑やかに70周年記念パー

ティーが開催され、楽しいひとときを過ごすことができました。

戦後間もなく土木建築労務研究会が創立され、平成8年には安全衛生及び職場環境分野が重要な課題になり、建設労務安全研究会になったそうです。日本の復興に対して安全労務管理が重要視されていたことが今の安全活動の原点のように感じました。また、パーティーのあと、北海道の人たちとの交流の場を設けていただき、親睦を深めたのは申すまでもありません。

翌日、鉄鋼会館にて第35回全国労研交流会議が開催され、各地労研による成果品の発表がありました。北海道からは、「建設業入門」の改訂



についてと漫画冊子「ただいま工事中!! 土木工事編・建築工事編」、「平成28年度 労災保険適用の手引き」、「リスク低減対策参考事例集CD」を発表し、北海道における建設業と地域とのつながり持つため、ボランティア活動、お祭りなどの地域イベント、高校生の現場見学会、お母さん方との意見交換会や保護者を対象とした現場見学会などの活動を報告しました。ま

た、成果品として労災保険適用の手引きやリスク低減対策事例集においても、札労研の活動をアピールすることができました。

各地労研の発表の中で、広島労研が発表された「建設現場における化学物質のリスクアセスメント」の資料がありました。施行されてから半年近くになってどう対応しているか悩んでいたのですが、リスクアセスメントの方法・書式が記載されており、すぐに活用できるものとなっておりました。書式はエクセルデータで作成されており、後日、札労研にデータが取り寄せられ活用ができる状況になっております。一般的に企業が作成したのであれば手に入れるのは難しいのかもしれませんが、労研という活動の中では、情報交換ができるということで大変有り難く感じました。

今回、伊藤と坂本は、2回目の参加ということで、以前よりはリラックスした状況で参加できたように思います。

参加して感じることは、今まで先輩方が苦勞して作り上げてきた活動・成果品が無駄にならないよう後生に引き継ぎながら、建設業の災害が少しでも減少するよう努力していかなければならないと感じました。

最後になりますが、今後も交流会などに積極的に参加され、自分の会社を守る上でとても役に立つと思いますので、皆さんも是非参加してみてくださいはいかがでしょうか。

☆☆

★各地労研の成果発表★

- | | | | |
|---------|---|--------|---|
| (1) 大阪 | ①建設工事の「職種および年齢別人員構成調査報告」
②繰り返し型災害防止のポイントPart II | (6) 東京 | ①安全衛生委員会…安全点検ポイントの冊子、建設職長ノート他
②労務管理委員会…(仮称)高年齢労働者の安全対策と健康管理、建設業法Q&A [改訂版] 他
③教育委員会…平成28年度労研セミナー、不安全行動防止対策の研究、企業の4大責任他
④労務安全必携編集委員会…平成28年度版労務必携(書籍・CD-ROM)について
⑤建災防本部の活動報告…建設業におけるメクレハ対策、建設工事における安全経費確保に係る調査、オリンピック・パラリンピック建設需要に対応した災害防止対策、化学物質のリスクアセスメント他 |
| (2) 北海道 | ①「建設業入門」改訂について
②漫画冊子「ただいま工事中!! 土木工事編・建築工事編」
③「平成28年 労災保険給付の手引き」
④リスク低減対策参考事例集CD | | |
| (3) 広島 | ①建設現場における化学物質のリスクアセスメント他 | | |
| (4) 仙台 | ①会報第64号による活動報告について | | |
| (5) 福岡 | ①平成28年度福岡労研活動状況
②安全部会 建設工事計画届必携の改訂について
③労務・環境部会 災害事例過去3年及び臨検の是正勧告の原因と対策のとりまとめについて
④各社持ち寄り事項の検討について | | |

※各地労研の発表資料は、協会事務局にありますのでご覧になりたい方は事務局迄お問合せ下さい。

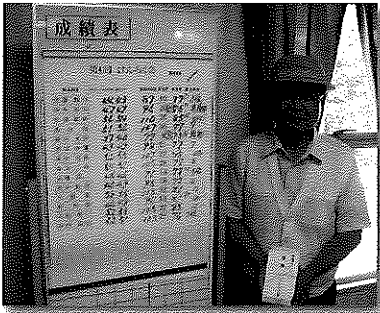
平成28年度「けんろく会」ゴルフコンペを開催しました！

第1回

平成28年5月28日(土)

平成28年5月28日(土) 現役、OB、関係団体関係者 総勢14名が参加されて、北広島市内のダイナスティゴルフ倶楽部にて開催しました。

当日は天候にも恵まれ、今年初めという方もおられましたが、ゴルフシーズン開幕ということで皆さん張り切ってプレイを満喫していました。今回のコースは、優勝した渡辺氏のホームグラウンドということもあって、77というハイスコアができました。お見事というほかありません。



●成績

優勝 渡辺 光祥氏 (元鹿島建設) グロス: 77 (HC 4), ネット73
 準優勝 坂本 昌幸氏 (新太平洋建設) グロス: 96 (HC20), ネット76
 3位 谷内 義弘氏 (ユニット) グロス: 103 (HC27), ネット76

平成28年9月17日(土)

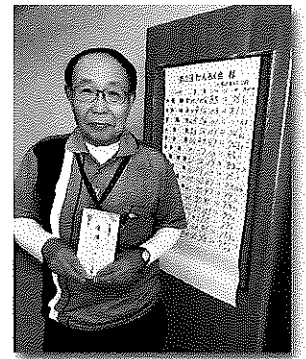
第2回



平成28年9月17日(土) 現役、OB、関係団体関係者 総勢15名が参加されて、北広島市内のサンパーク札幌ゴルフコースにて開催しました。夜中から大雨が降っており、今日のプレイは中止か雨具の用意をと思っていましたら、5時頃には雨も上がり、最高のゴルフ日よりとなりました。今回のコースは、平坦なこともあり郷氏のまっすぐなドライバーショットがかみ合ってネット71というアンダーが生まれました。来年度は、このスコア以上の成績を上げられるよう皆さん頑張って下さい。

●成績

優勝 郷 圀夫氏 (監督署相談役) グロス: 101 (HC30), ネット71
 準優勝 高橋 隆一氏 (元 建 災 防) グロス: 87 (HC14), ネット73
 3位 大島 健一氏 (岩田地崎建設) グロス: 96 (HC23), ネット73



☆information☆

★来年度の開催は、平成29年5月と9月の2回を予定しています。

★新会員を常時、募集しておりますので興味のある方は、下記連絡先までお問合せ願います。

※平成28年度幹事：(株)中組 伊藤 (電話：090-3394-7444)

札幌建設業協会労務委員会活動報告



札幌労務研究会 労務管理部会活動紹介

労務管理部
部会長 加藤 元春

我々が労務管理部会の活動内容をご紹介します。メンバー構成は、札幌研の中でもより優秀なスーパー的な（自称）人達ばかりです。

メンバーの皆さんは其々の企業で労務を本質的に行っている訳ではなく、札幌研労務管理部会のために、日々研鑽を行って頂いております。

労務と一言で言ってしまうと簡単ですが、私たちが取り組んでいる具体的な内容は、

1. 公共事業労務費調査等に伴うお手伝い
2. 労災保険の速やかな適用のためのお手伝い
3. 不幸にして労働災害が発生した場合速やかな救済を進められるためのお手伝い

が主な活動であります。

1の公共事業労務費調査等に伴うお手伝いは、毎年10月頃に札幌市のわくわくホリデーで開催されます、国交省主催の公共事業労務費調査地方説明会での事務的お手伝いと、数多くのデータを基に建協で纏め上げた冊子によるご説明を“わくわく”しながら行っています。その後のフォローと言う事で10月下旬に北海道建設会館で「賃金管理・公共事業労務費調査」の研修



会を開催。その研修会終了後に、この調査でお困りの皆様への無料相談会を開催しています。特に無料相談会では皆様いろいろとお悩みの様で、それにお応えする相談員（労務管理部会のスーパースター軍団）も汗を拭き拭き誠意をもってご指導させて頂いております。

その会場での私の役割は、全体把握と言う事でただ立っているだけなので非常に楽なのですが、労務管理部会のメンバーはととても大変そうです。

しかしメンバーの方々は的確な指導をしている様で、相談者の方々は安心してお帰りになります。

なんと素晴らしいメンバーがいる部会でしょう！

2と3については、メンバーの知識を集結させ素晴らしい冊子を作り上げました。

平成27年に「建設業労災保険適用の手引」を、平成28年には「労災保険給付の手引」を世に送り出しました。ここで忘れていけないのは、この2冊の冊子を発刊出来たのは今現在のメンバーの力ではなく、歴史ある札幌研に携わった諸先輩の意志を我々が引き継ぎ、改正点を盛り込み発刊出来たものであります。この2冊の冊子は是非とも皆様、そしてより多くの方々に読んで頂きたい自慢の冊子であります。また、今後の定期更新も中・長期計画で立案されておりますので、皆様ご期待ください。ちなみに、セットでお買い上げの場合は割引が適用されとってお得になっております。



これからの予定もお知らせしたいと思います。

今現在取り組んでいる事は、労災保険に関するQ&A方式の冊子作成であります。労災保険に限らずもっと広義に進めて行く予定も御座いますが、いずれにしても皆様が必要としている情報を、いかにお届けできるかをメンバー一同真摯に考えながら取り組んでおります。こんなことが知りたい、こんな情報が欲しいなどありましたら“どんどん”“どしどし”危険予知安全ミーティングの様に発言頂けると幸いです。

最後に、札幌労務研究会労務管理部会メンバーの皆様。本当にいつもご協力頂き、また豊富な知識の惜しげもないご提示ありがとうございます。こんな部会長

ですがこれからも愛して下さるようお願いいたします。『情けは人の為ならず』と言う諺がありますが、私にすごく協力してくれた人には、すごく沢山の幸せがきっと訪れます。これからも仲良く頑張りましょう。

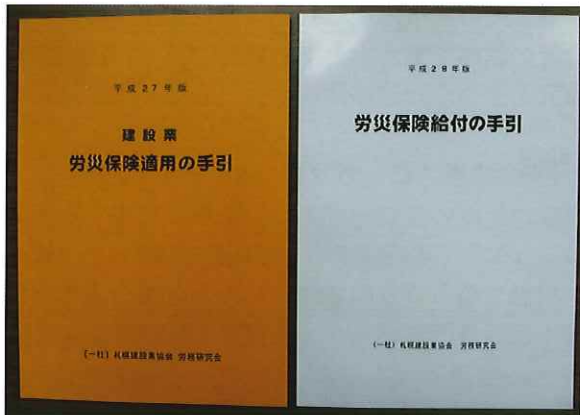
止めどもない文章になってしまいましたが、これで労務管理部会の紹介といたします。

【最近の労務管理部会発行の成果物】

- ◎平成27年度『労災保険適用の手引き』
- ◎平成28年度『労災保険給付の手引き』

労災保険の適用、給付の手続きについて、細部まで説明がありますので、各社事務ご担当者には、マニュアル本としては是非お持ちいただきたい冊子です。

- ★販売価格 各々1冊1,300円
- ★セット価格 1セット2,200円
- ※(一社)札幌建設業協会窓口販売中



かは謎です。) 入った当時は、平成26年3月に出した(CD版)【現場で実施した改善事例集】に携わり、次の年から【ライフライン事故防止マニュアル】に取り組み出版したところ、好評を得ているようです。

今回何をテーマにするのか、部会員の皆様にテーマを募集したところ、何件か出てきましたが私の意向で?サブタイトル【建設業の疑問Q&A(案)】に決めました。私の安全に携わった10年間のなかで、『施工における安全の疑問』が多々あり、その回答集を作成する予定です。(ある意味大変な作業になると思いますが部会員の皆様ご協力を願います。)



たとえば、ロングジャッキベースの使用で“その使い方はダメです!!”や“何か不安定だ”など疑問に思ったことはありませんか?このような疑問を参考図書・法律書・その他文献やインターネットを駆使し解決しようと思います。時間がかかるとは思いますが、札労研の会員の皆様よろしくお願いたします。

【最近の安全環境部会発行の成果物】

- ◎平成26年度『現場で実施した改善事例集』
- ◎平成27年度『ライフライン事故防止マニュアル』
- 販売価格 1枚500円
- ※(一社)札幌建設業協会窓口販売中



札労研安全環境部会の活動について

安全環境部
部会長 本間 博司

当研究会には平成25年4月に入会し、はや4年目となります。当初は先輩会員の指示されるまま活動していました。2年目からは副部会長そして今年度は部会長と、あれよあれよと言うまに、現在部会長の立場になっています。(皆さん持ち回りだからといっていますが、何故部会長になった



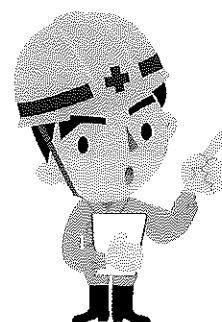
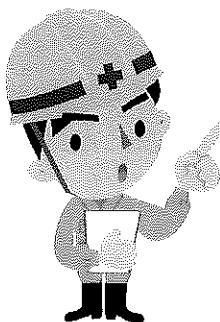
一般社団法人 札幌建設業協会 労務研究会 常任委員名簿

- 委員長 高橋 雅勝 (株) 中山組 【札幌協労務委員会委員・道労研副委員長兼任】
- 副委員長 薄田 将人 北土建設 (株) 【札幌協労務委員会委員兼任】
労務管理部会担当
- 副委員長 伊藤 勝行 (株) 田中組
安全環境部会担当
- 労務管理部会長 加藤 元春 丸彦渡辺建設 (株) 【札幌協労務委員会委員・道労研賃金部会委員兼任】
- 安全環境部会長 本間 博司 岩田地崎建設 (株) 【札幌協労務委員会委員兼任】
- 企画会担当責任者 山田 昌俊 伊藤組土建 (株) 【札幌協労務委員会委員・道労研安全部会委員兼任】
- 顧問 大谷 浩樹 (株) 石山組 【札幌協労務委員会委員兼任】

◎⇒部会長、○⇒副部会長、★⇒企画会担当責任者、☆⇒企画会担当

部会	氏名	会社名	部会	氏名	会社名
労務管理部会	◎ ☆ 加藤 元春	丸彦渡辺建設 (株)	安全環境部会	◎ ☆ 本間 博司	岩田地崎建設 (株)
	○ ☆ 松田 元之	大東工業 (株)		○ ☆ 渡部 正力	(株) 玉川組
	★ 山田 昌俊	伊藤組土建 (株)		金山 二樹	岸本産業 (株)
	福田 徹	杉原建設 (株)		田中 清貴	勇建設 (株)
	坂本 昌幸	新太平洋建設 (株)		河端 伸明	北海土木工業 (株)
	増井 豊樹	札幌工業 (株)		北畑 純一	恵庭建設 (株)
				小玉 博之	道路工業 (株)
				辻 順一	(株) 山田組
		武山 泰司	勇建設 (株)	事務局	行方 和夫
	神田 俊彦	(株) 大庭組			

平成29年1月現在



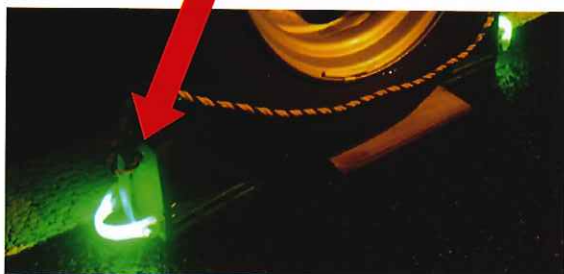
札幌労務研究会の沿革(抜粋)

- | | | | |
|-------|--|-------|---|
| 昭和23年 | 労働関係調整法、労働基準法、職業安定法、労働組合法の研究のため「北海道建設工事請負制度研究会」が発足。 | 平成5年 | 「建設業労災保険適用の手引き(平成5年度改訂版)」の編集。 |
| 昭和24年 | 各社における経営的立場の労働問題担当の方々が集い、17名の委員で第1回札幌土建協会労務委員会を開催。 | 平成7年 | 札幌開催の第32回全国建設業労働災害防止大会に協力。 |
| 昭和28年 | 常任委員10名で第1回常任委員会を開催、続いて事務方の労務担当者が委員として22名が加わり全体会議にあたる総体委員会が開催される。社保・労災・労基・職安の専門部会を設け、現在の労務研究会の原形となる。 | 平成9年 | 札幌開催の第56回全国産業安全衛生大会に協力。 |
| 昭和34年 | 第1回北海道建設業安全大会が北海道自治会館で開催。 | 平成10年 | 札労研の産業安全衛生活動に対し、北海道労働基準局長より団体賞を受賞。「建設業労災保険適用の手引き(平成10年度改訂版)」の編集。 |
| 昭和35年 | 第7回全国労働安全衛生大会が札幌中島スポーツセンターで開催。 | 平成14年 | 札労研だよりに「カメラが見た安全工夫のアラカルト」の掲載始まる。 |
| 昭和40年 | 社団法人札幌建設業協会労務委員会の発足に伴い諮問機関となり、「社団法人札幌建設業協会労務研究会」に名称を変更する。 | 平成15年 | 「建設業労災保険適用の手引き(平成15年度改訂版)」の編集。 |
| 昭和43年 | 「札労研ニュース」第1号発刊、昭和48年まで23号を発刊。 | 平成17年 | 施工体制台帳作成に関する手引書ならびにQ & Aの編集。 |
| 昭和45年 | オリンピック関連工事に対する労働力の確保に向けて札幌オリンピック建設雇用協議会を設立。 | 平成18年 | 「建設業労災保険給付の手引き(初版)」の編集。
「建設工事に係わる環境衛生関係参考集」のCD編集。
札幌開催の第43回全国建設業労働災害防止大会に協力。 |
| 昭和48年 | 「建設業の経営首脳と労働組合との相互信頼にもとづいた正しい労使関係」等をまとめた特別号発刊。 | 平成19年 | 「建設業退職金共済制度参考様式集」の編集。
「建設業における一酸化炭素中毒を防止しよう!」のCD編集。
「移動式クレーン災害防止」のCD編集。 |
| 昭和51年 | 「札労研ニュース」を「札労研だより」に改める。 | 平成20年 | 「建設業労災保険適用の手引き(平成20年度改訂版)」の編集。
札幌開催の第67回全国産業安全衛生大会に協力。 |
| 昭和54年 | 設立当初より交流のあった東京労研に大阪労研が加わり、札幌を含む3労研の交流が始まる。また、各地にある労研活動の活性化と連携を呼び掛け、全国労研交流会議が開催。 | 平成21年 | 設立60周年記念式典・祝賀会の開催。
「公共事業労務費調査票の適切な記載方法研修会」を札幌協労務委員会と共催で実施(現在の賃金管理・公共事業労務費調査研修会)。 |
| 昭和55年 | 衛生関係の一般作業員教育テキストとして「衛生のしおり」を発刊。 | 平成23年 | 「建設業労災保険給付の手引き(平成23年度改訂版)」の編集。 |
| 昭和56年 | 「建設業の災害の“0”達成のために」と題し、行政を交えた座談会を開催。 | 平成26年 | 「現場で実施した改善事例集」のCD編集。 |
| 昭和57年 | 札幌開催の第41回全国産業安全衛生大会に協力。 | 平成27年 | 「建設業労災保険適用の手引き(平成27年度改訂版)」の編集。 |
| 昭和60年 | 「建設業労災保険適用の手引き(初版)」の編集。 | 平成28年 | 「建設業労災保険給付の手引き(平成28年度改訂版)」の編集。
「ライフライン事故防止マニュアル」のCD編集。 |
| 昭和63年 | 札労研だより発刊100号記念特集号で歴代委員長による記念座談会を開催。
「建設業労災保険適用の手引き(昭和63年度改訂版)」の編集。 | | |

カメラが見た

安全の工夫 あらがる

★LED歯止め!★



ポイント

夜間で規制帯の中に車両が停車していても、よく分らないことがあるが、これを使うと規制帯に駐車車両があることが分り、注意喚起になる。
 (※自前で製作：市販のLEDセーフティバンドをネジ止め)

★段差解消 やさしい歩行者通路!★



ポイント

歩行者通路の段差解消対策として、単に車道と歩道を板で斜めにすりつけるのではなく、転倒災害防止対策として平らなステージと斜路をすりつけ、目立つ色の滑り止めマットを貼り付け歩行者・自転車が安全に通行できるよう工夫した。